

宮本常一 (芳賀日出男撮影)

2026年度アートによる地域振興助成 2次選考会

会場：HOME/WORK VILLAGE 209

日時：2026年1月24日(土)10:05～

登壇者：太田原潤・工藤和彦



# 宮本常一 Photo Project in 下北

宮本常一は、昭和期の下北半島の写真を大量に残しました  
その写真を用いた企画展を地元で開催し、住民の皆さんと交流します  
交流の中で写真の内容を把握し、変わったもの、変わらないものを捉えます  
シンポジウムやイベントで学びを深め、地元への関心を高めます  
次世代に残したいもの、伝えたいことを考え、表現します

下北最高峰・釜臥山から臨む景色

# 1. 私たち

## 宮本常一 Photo Project in 下北 実行委員会

委員長：太田原 潤

(むつ市文化財保護審議会委員)

事務局長：工藤 和彦

(うそりの風の会代表)

委員：小池 拓矢

(NPO法人シェルフォレスト川内)

委員：中川 隆浩

(下北を知る会会長)

監事：竹園 正敏

(カメラクラブ悠々代表)



「うそりの風の会」発行誌



「下北を知る会」主催事業チラシ

- 設立：2025年10月
- 各委員の所属団体はそれぞれ地域に根差した豊富な活動実績

## 2. 下北(しもきた)

3つの海

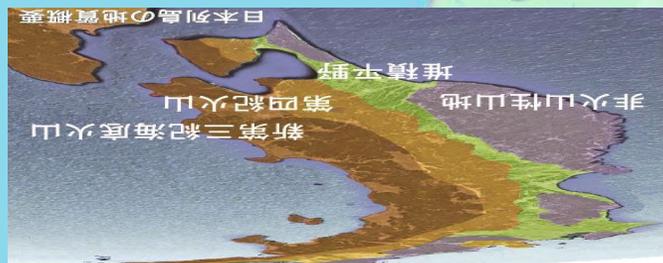
### 特徴の異なる海の恵み

- ・東は波の大きな**太平洋**
- ・北は流れが速い**津軽海峡**
- ・南は穏やかな**陸奥湾**

4つの地質

### 東北日本弧を構成する主要な地質が集約

- ・非火山体性山地
- ・新第三紀海底火山
- ・第四紀火山
- ・堆積平野



下北ジオパークビジターセンター展示パネルを改変



5つの市町村

### 本州最北端の市町村

- ・むつ市 : 50,959人
- ・大間町 : 4,609人
- ・東通村 : 5,496人
- ・風間浦村 : 1,535人
- ・佐井村 : 1,593人

2025年4月調べ



『東奥日報』より



恐山

3つの海と4つの地質がおりなす豊かな自然  
それらに育まれた独特な歴史と文化

# 3. 宮本 常一

## 宮本 常一(みやもと つねいち)

- 1907(明治40)年8月1日、山口県東和町(現周防大島町)生まれ
- 1981(昭和56)年1月30日、東京都府中市で没

## 民俗学者、旅する巨人

- 1939(昭和14)年にアチック・ミュージアムに入り各地で民俗調査
- 戦後は日本観光文化研究所、日本民具学会などの設立に携わる
- 九学会連合による対馬・能登・佐渡・下北の総合調査に参加
- 1965(昭和40)年に武蔵野美術大学教授

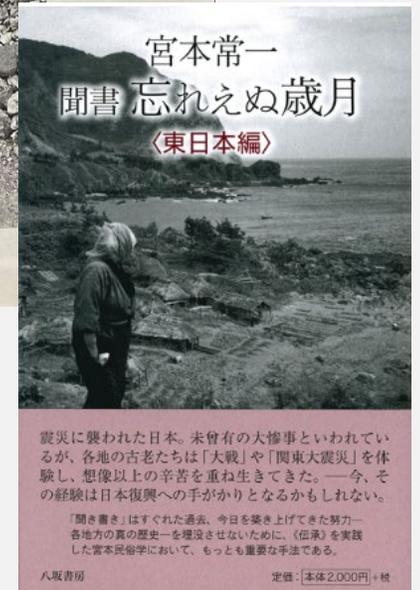
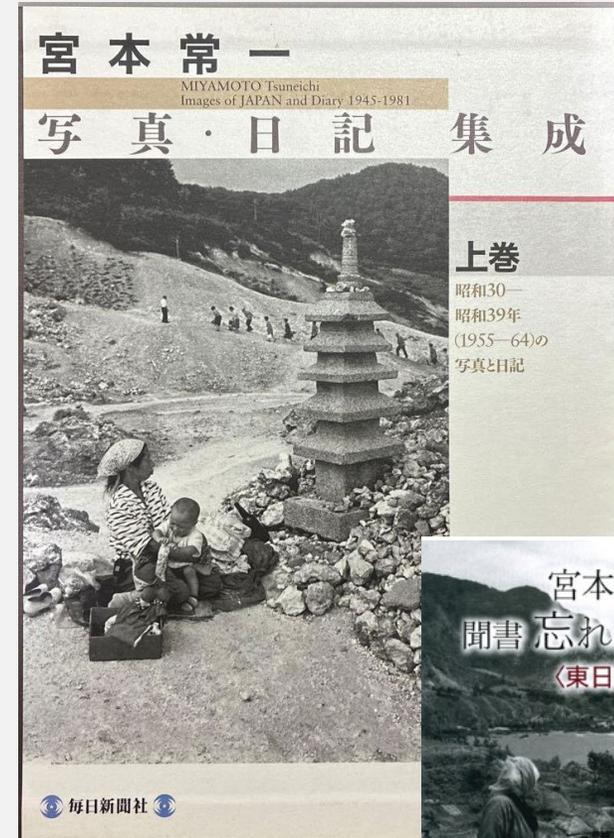
「もし宮本君の足跡を日本地図に赤インクで印したら全体真っ赤になるであろう」(渋沢敬三)

## 宮本常一の写真

- 1940~1945年までの写真の大半は空襲で焼失(約400枚残る)
- 1955~1980年までの写真は約10万枚が残る

「読める写真を撮れ」、「おやっと思ったら撮れ、はっしたら獲れ」(宮本常一談)

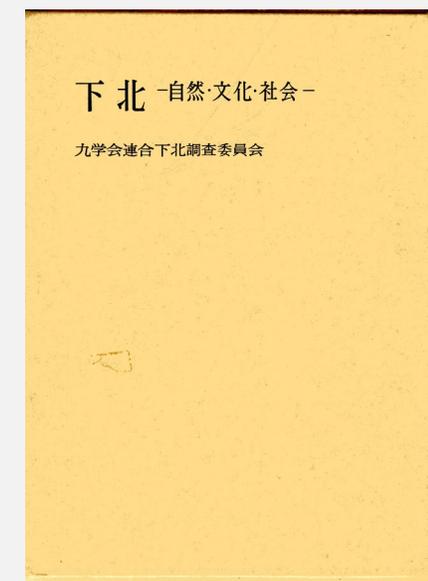
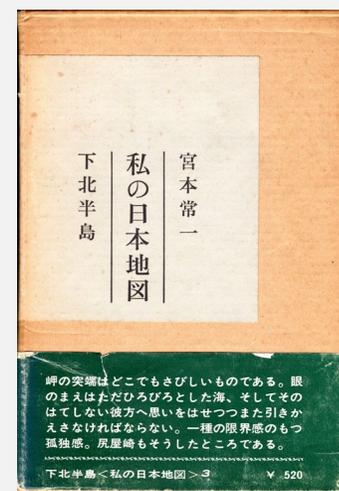
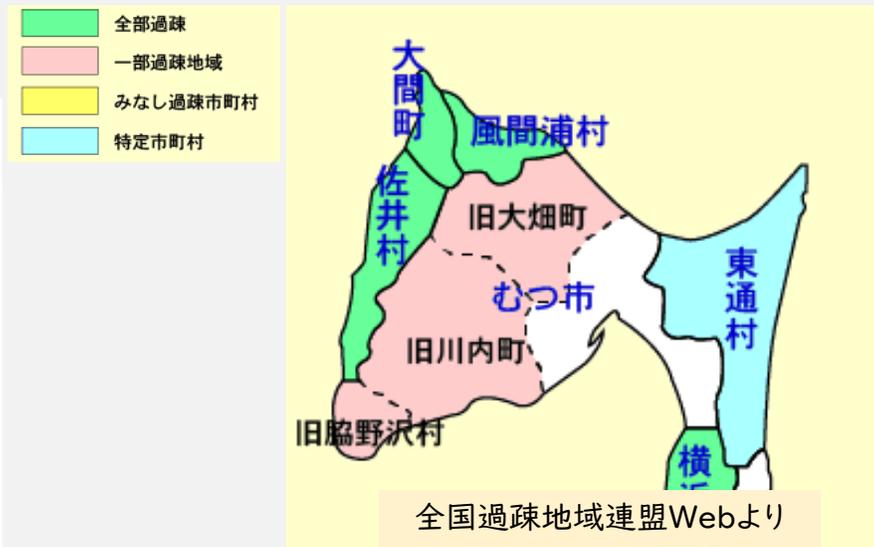
「この人の写真は、「風景」というよりも「情景」になってるんだね(中略)レンズが肉眼を感じさせるというかさ」(荒木経惟)



# 4. 下北と宮本 常一

## 宮本 常一による下北の調査

	日程	目的	主な調査地(現市町村名)
1	昭和15年12月4日~	オシラ様調査	むつ市大畑町、東通村、恐山
2	昭和21年8月13・14日	地主調査	むつ市斗南丘富樫家
3	昭和38年6月18日~23日	九学会連合予備調査	半島を一巡
4	昭和38年8月7日~20日	九学会連合調査	東通村、むつ市川内町、佐井村
5	昭和39年3月6日~10日	農業経営調査	むつ市
6	昭和39年4月15日	夫人を案内	東通村
7	昭和39年7月22日~31日 8月10日~15日	九学会連合調査	むつ市、恐山、むつ市川内町、恐山
8	昭和40年1月2~5日	九学会補足調査	むつ市
9	昭和41年8月25日~29日	農業経営調査	むつ市
10	昭和53年5月13日~15日	講演	むつ市、むつ市川内町、むつ市脇野沢、佐井村、大間町、むつ市大畑町



# 5. 2026年度事業

8月 企画展「あるくみるきく “旅する巨人” 宮本常一が写した昭和の下北」  
【脇野沢地区特集】

9月 企画展「あるくみるきく “旅する巨人” 宮本常一が写した昭和の下北」  
【佐井村特集】

10月 企画展「あるくみるきく “旅する巨人” 宮本常一が写した昭和の下北」  
【川内地区特集】

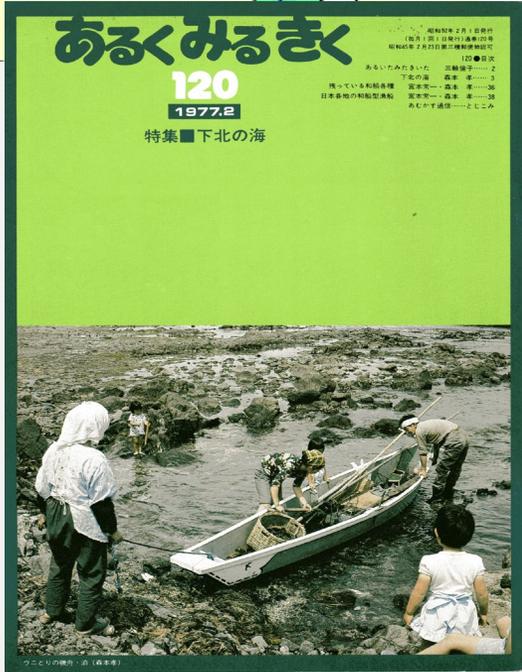


## 会場ごと

- むつ市は合併前の町村単位、他は町村単位に写真を抽出

## 各会場共通

- 会場所管自治体教育委員会共催
- 会期は各会場10日程度
- スタッフを配置し、見学者と常時情報交換
- 会期終盤に講座と交流座談会開催



## 6. 全体計画

2026年度：前ページを参照

2027年度

企画展「あるくみるきく“旅する巨人”宮本常一が写した昭和の下北」  
【大間町・風間浦村特集】

企画展「あるくみるきく“旅する巨人”宮本常一が写した昭和の下北」  
【東通村特集】

企画展「あるくみるきく“旅する巨人”宮本常一が写した昭和の下北」  
【総括展示】

シンポジウム「宮本常一が写した昭和の下北、菅江真澄が描いた江戸の下北」  
講師：石井 正己 氏（東京学芸大学名誉教授）  
昆 政明 氏（元神奈川大学特任教授） 他

2028年度

ウォークイベント「聞く・見る・歩く 宮本常一の足跡をたどる」

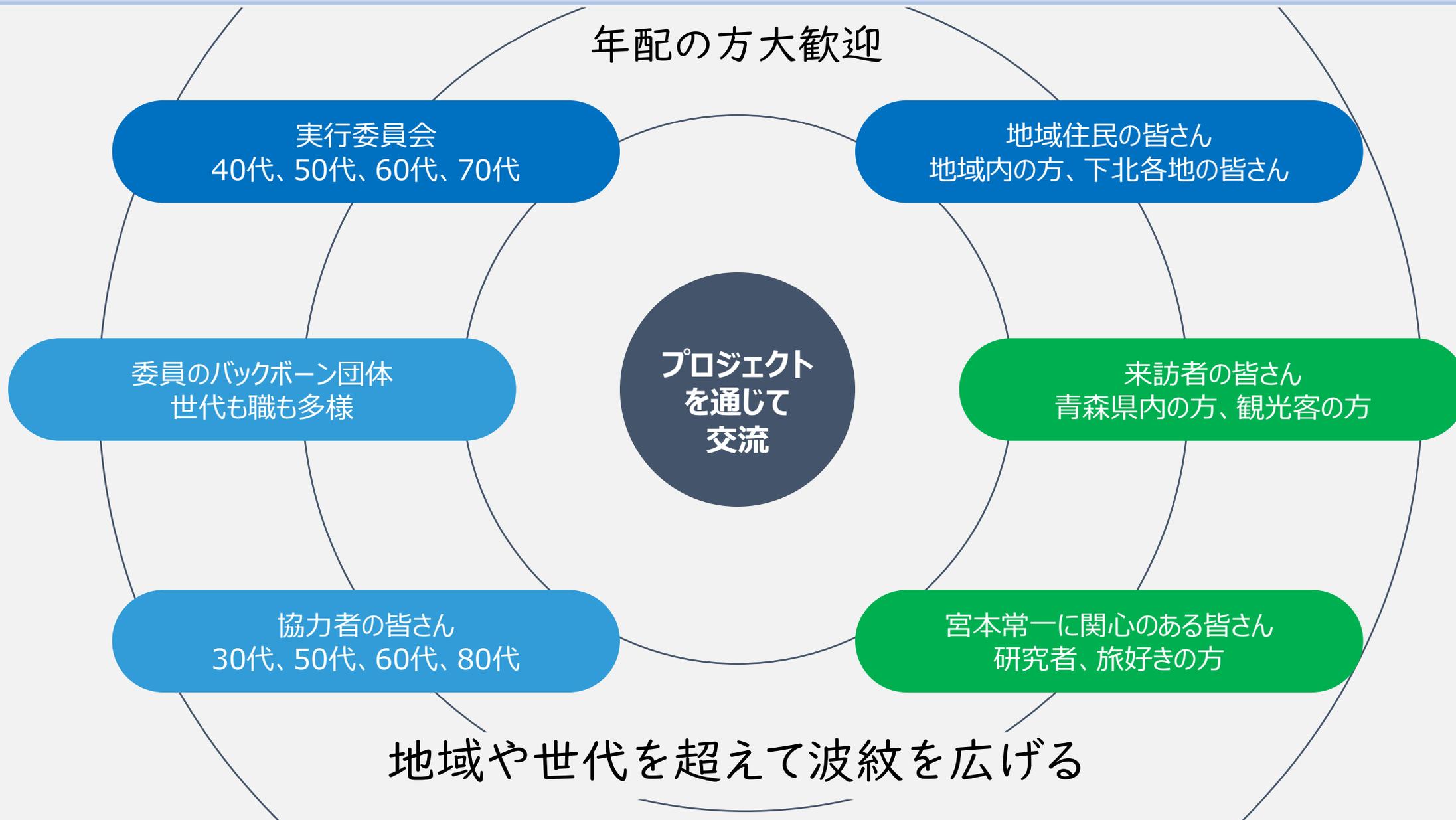
公募展「歩く・見る・○る（○く）残したい・伝えたい“私の下北”」  
○る（○く）＝撮る・録る・彫る・貼る・作る、描く・書く等  
参加アーティスト：中村 絵美 氏（秋田市文化創造館）



中村 絵美  
上野の森美術館VOCA展2024出品作品

「非在の島、あるいは逆流の生理」  
インクジェットプリント、ターポリン・パネル  
154.0×142.0×6.7cm

# 7. 交流



# 8. アーカイブからアーカイビングへ



ネガナンバー:	385
フィルムナンバー:	10
撮影年月日:	昭和38年6月20日
種別:	調査
都道府県名:	青森県
都市名:	下北部
町村名:	脇野沢村
地区名:	牛滝
内容1:	海蝕崖
内容2:	
備考:	



「1978年5月15日、下北半島、河口に設けた漁の仕掛け」  
（『宮本常一写真・日記集成 下巻』より）

## 多くの眼と耳で情報更新

- ・宮本写真の現地の現在
- ・現地の過去の情報の収集
- ・現地の今後の情報を追加
- ・情報を付加してアーカイビング

## 地域の人と情報交換

- ・記録の欠落の補完、誤りの修正
- ・付加情報の収集
- ・正確な情報でアーカイブ



2025年4月25日、おつ市川内町蠣崎の男川におけるシロウオ漁（橋の上流側に1基のみ）

# 9. 今後の展開

